

ALL DOSHISHA教育推進プログラム「地の塩」プロジェクト

「宗教と国際社会」

ーバングラデシュで学ぶ国際社会の課題ー」

科目説明会

2024年1月16日



1. 「宗教と国際社会」科目の概要（1）

<開講学期> 2024年度春学期

<単位> 2単位

<対象> 2021年度生～2023年度生（神学部生の場合）

※神学部では1類科目として、卒業単位に算入されます。

※神学部の2020年度以前生で出願を希望する場合は、事前に神学部事務室へ相談してください。

※神学部以外の学生は、学部によって履修年次や卒業単位への算入可否が異なりますので、各自で所属学部事務室へ確認してください。

<募集人数> 8名（うち、神学部以外の学生は2名まで）
最少催行人数5名

2. 「宗教と国際社会」科目の概要（2）シラバス

10103395

○宗教と国際社会（バングラデシュで学ぶ国際社会の課題）

2 単位/Unit 春学期/Spring 今出川/Imadegawa 講義および実技/Lecture and Skills practice
Religion and International Society (Learning the Issues of the International Society in
Bangladesh)

木谷 佳楠 勝又 悦子 森山 央朗 村上 渡

<概要/Course Content Summary >

「宗教と国際社会」は、ALL DOSHISHA 教育推進プログラムの一環として「宗教と社会福祉」「宗教と社会活動」に続いて2023年度に新設された、フィールドワークを主体とした科目です。この科目は、バングラデシュにおいて社会問題や環境問題と向き合うことにより、国際的な視点で物事を見る力を養い、また、国際社会における宗教の役割を考える力を身につけることを目標としています。

宗教についての知識や体験なしに、21世紀の国際社会を理解することはできません。本科目では、近年、めざましい経済発展を遂げながらも、児童労働、児童買春、児童婚、環境問題、少数民族差別など、多くの社会問題を抱えるバングラデシュにおいて、現地 NGO デライト・ファウンデーションの協力を得ながら、問題を直視し、課題を解決する方策を共に模索することによって、国際的な実践力を身につけていきます。

主たるフィールドワーク先は、デライト・ファウンデーションが拠点を置くゴパルガンジです。そこには児童養護施設や小学校があり、子どもたちと交流しながら、バングラデシュが抱える問題を考えます。また、ゴパルガンジから、世界最大のマングローブ林があり、エコツーリズムが盛んなシュンドルボンに行き、環境保護についての学びを深めます。

4月から7月までは、教室での事前授業を通じて、バングラデシュのことや、国際社会と宗教の関係について学びます。8月22日～30日（使用する航空会社によって日程が±1日変更になる可能性があります）の間に現地でのフィールドワークを行います。

<到達目標/Goals,Aims >

- ・学生が国際社会の抱える課題を直視し、問題解決の方法を考える力を養うことができるようになる。
- ・加えて、国際社会における宗教の役割について、学生がフィールドワークを通して考える力を身につけることを目標とする。

2. 「宗教と国際社会」科目の概要（2）シラバス

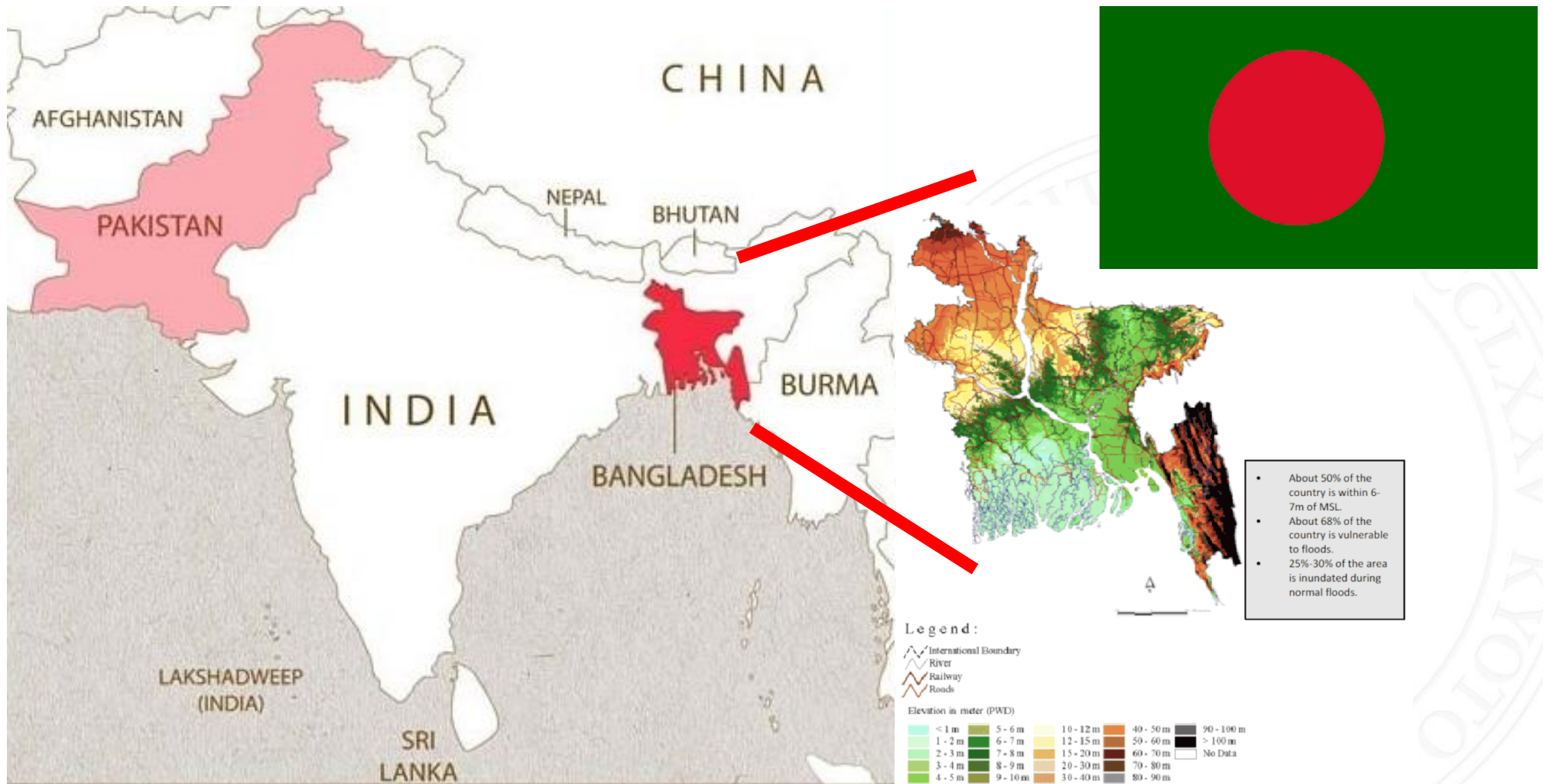
<授業計画>

| 実施時期/ Week | 授業回/Number of Lesson | 授業実施方法/How to Conduct a Lesson | 授業実施時間数/Class Hours |
|-----------------|---|--------------------------------|---------------------|
| | 内容/Contents | | |
| | 授業計画外の学習/Assignments | | |
| 第1週 DO Week | | | 0分/min. |
| | DO Week 期間の初回動画等の配信はありません。 バングラデシュに関する参考文献などを読み、授業に備えておいてください。 | | |
| 第2週 | 1 (4/15) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | オリエンテーション（渡航に関する説明を含む） 学んだことを復習し、不明な点があれば、次回質問できるように準備してください。 | | |
| 第5週 | 2 (5/13) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | バングラデシュ入門（1）－バングラデシュの基礎知識（村上） バングラデシュ入門（2）－バングラデシュにおける環境問題（木谷） | | |
| | 学んだことを復習し、不明な点があれば、次回質問できるように準備してください。 | | |
| 第8週 | 3 (6/3) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 国際社会と宗教（1）－共存と紛争の背景（森山） 国際社会と宗教（2）－アジアにおける宗教の多様性（勝又） | | |
| | 学んだことを復習し、不明な点があれば、次回質問できるように準備してください。 | | |
| 第11週 | 4 (6/24) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 事前レポート発表 事前授業で学んだことを総括し、事前レポートを準備し、授業内で発表してください。 | | |
| 第14週 | 5 (7/15) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 渡航前オリエンテーション（危機管理オリエンテーションを含む） 渡航前の準備が整っているか、確認してください。 | | |
| 8月下旬 | 6～14 (8/22～30*予定) | 面接/Face-to-face | 810分/min. |
| | フィールドワーク 事後レポートを書くために、毎日の記録を取っておいてください。 | | |
| フィールド ワーク終了後 | 15 (9/12) | 面接/Face-to-face | 90分/min. |
| | 報告会（非公開） 授業およびフィールドワークで学んだことを総括し、PowerPointを使用したプレゼンテーションによる報告ができるように準備してください。 | | |

※抜粋

3. フィールドワーク先の国

バングラデシュ人民共和国



3. フィールドワーク先の国



3. フィールドワーク先の国



3. フィールドワーク先の国



3. フィールドワーク先の国



3. フィールドワーク先の国



難民を抱える国



3. フィールドワーク先の国



3. フィールドワーク先の国



数多の児童問題を抱える国



3. フィールドワーク先の国

宗教と社会



国教がイスラム教（人口の約9割）

宗教と社会



ヒンズー教徒、キリスト教徒、仏教徒等

宗教的少数派の置かれた状況

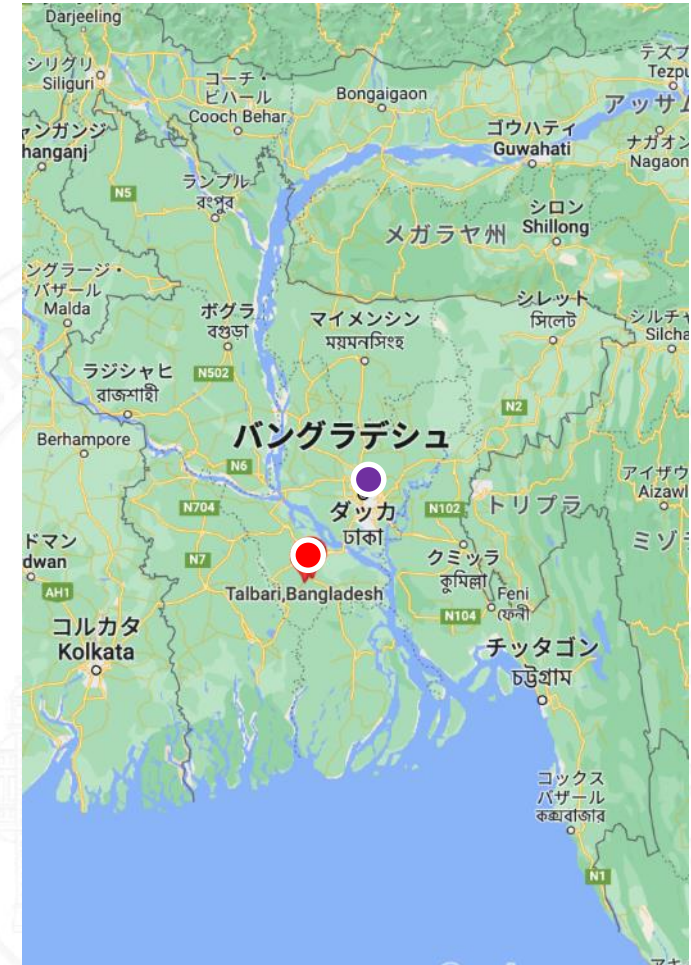
3. フィールドワーク先の受入れ団体

Delight FOUNDATION



3. フィールドワーク先①

Delight Foundationのキャンパス



3. フィールドワーク先の施設

Delight Children Homeの子どもたち



3. フィールドワーク先の施設

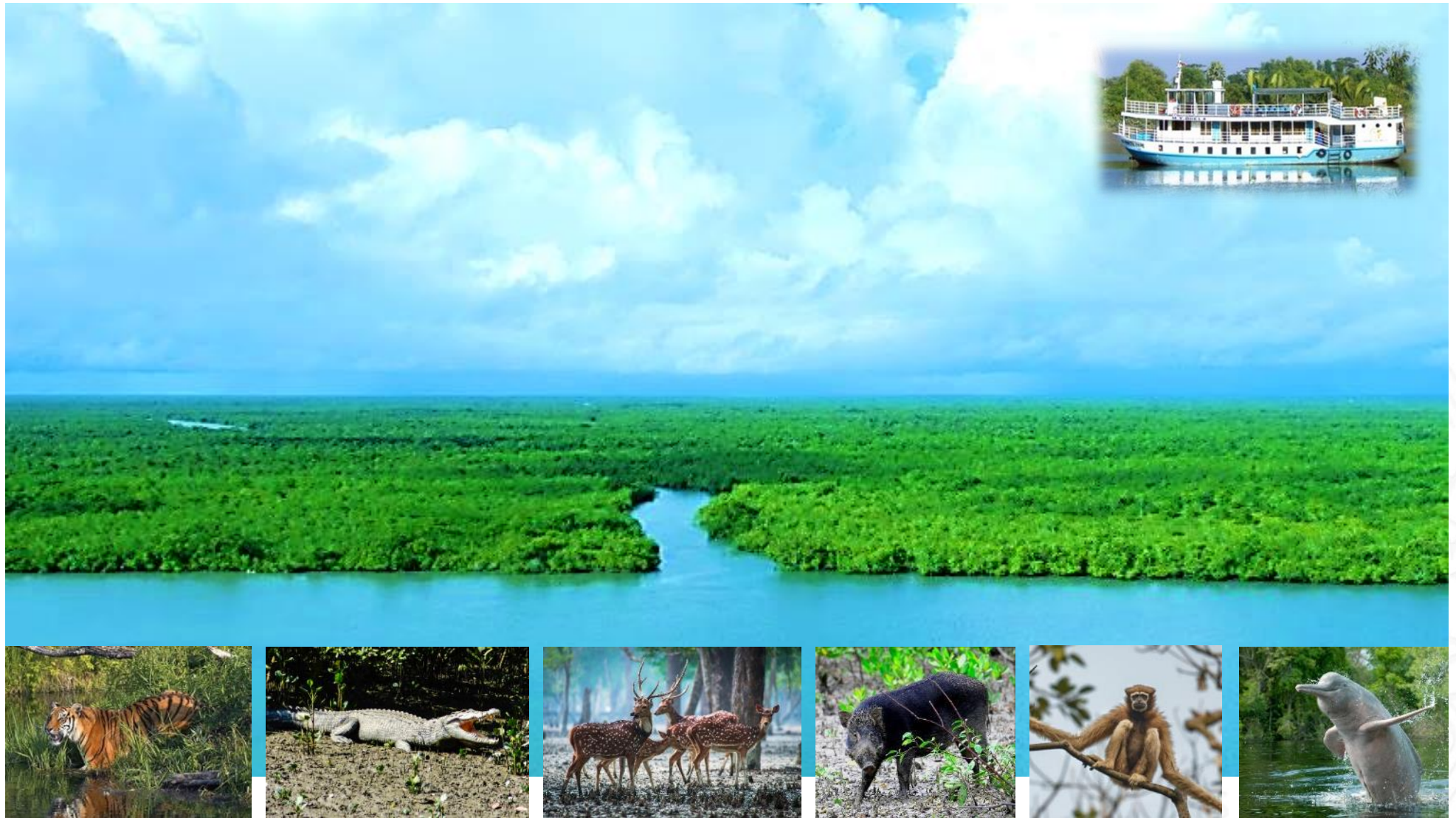
Delight Primary School



3. フィールドワーク先②キャンパスが所在する村



3. フィールドワーク先③シュンドルボン



4. 旅程 [予定] (1)

| | 内容 | 食事・宿泊 |
|----------|---|--|
| 8/22 (木) | 関西国際空港10:55発 →経由地 (シンガポール) 16:40着・20:35発 →バングラデシュ・ダッカ22:40着 * 関西国際空港より科目担当教員1名同行 | 朝× 昼○機内 夜○機内 ダッカ・ 現地ホテル泊 |
| 8/23 (金) | ダッカ→ [車移動] →ゴパルガンジ フィールドワーク (乳搾り体験、村のごみ拾いなど) | 朝○ 昼○ 夜○ ゴパルガンジ・ 現地施設ゲストフロア泊 |
| 8/24 (土) | フィールドワーク (村市場見学、村見学、釣り・農業体験、 夕食づくり体験など) | 朝○ 昼○ 夜○ ゴパルガンジ・ 現地施設ゲストフロア泊 |
| 8/25 (日) | 日曜礼拝 ゴパルガンジ→ [車移動] →クルナ出港 シュンドルボン (マングローブ) 見学 | 朝○ 昼○船内 夜○船内 シュンドルボン・船中泊 |
| 8/26 (月) | クルナ帰港→ [車移動] →ゴパルガンジ | 朝○船内 昼○船内 夜○ ゴパルガンジ・ 現地施設ゲストフロア泊 |

4. 旅程 [予定] (2)

| | 内容 | 食事・宿泊 |
|----------|--|-------------------------------------|
| 8/27 (火) | フィールドワーク (朝食および夕食づくり体験・デライト小学校 ピクニック・夜のお茶屋見学など) | 朝○ 昼○ 夜○ ゴパールガンジ・ 現地施設ゲストフロア泊 |
| 8/28 (水) | ゴパールガンジ→ [車移動] →ダッカ フィールドワーク (市場・工場見学など) ダッカ23:55発 | 朝○ 昼○ 夜○ 機中泊 |
| 8/29 (木) | →経由地 (シンガポール) 6:05着 経由地8:30発→関西国際空港16:10着 | 朝 (未明) ○機内 昼○機内 夜× |

※今後の世界情勢などにより、変更が生じる可能性があります。飛行機の減便により出発が8/21 (水) に前倒しとなる、当日の飛行機の遅延により8/29 (木) 中に帰宅できないなど、日程が多少前後する可能性もあるため、注意すること。

5. 出願 [予定]

< 出願期間 >

2024年3月25日（月）10:00
～ 3月27日（水）17:00

< 提出書類 >

①志望理由書－所定用紙（400字程度）

②願書－所定用紙

※パスポートの有無や有効期限も記入します。

パスポート残存期間はバングラデシュ入国時に6ヶ月以上必要です。

また、査証用にパスポートの空白ページが3ページ以上必要です。

③誓約書－所定用紙

※保証人の方の署名が必要です。

▼提出書類の所定フォームは、本説明会終了後に神学部ホームページに掲載予定です。ダウンロードのうえ記入してください。

▼3月15日に公開予定の神学部登録要領もあわせてご確認ください。

6. 選考 [予定]

志望理由書と科目担当教員の面接により総合的に判断する

<面接日時> 2024年3月29日（金）終日予定を空けておくこと
※面接時間等の詳細は、出願締切後に大学付与のメールアドレス宛に個別に連絡するため、メールを頻繁に確認のうえ、回答を求められた場合は速やかに返信すること。

<結果発表> 2024年3月30日（土）10:00～ DUET
※2024年度春学期（月曜・5講時）に事前授業がありますので、他の履修科目と時間割重複にならないよう注意してください。

7. 参加費納入（1）

<費用> 約28万円

※参加費に含まれるもの

航空運賃・現地宿泊費・スケジュールで含むとされた食費・査証代行手数料
・海外旅行保険料・空港諸税・燃油サーチャージ

※参加費に含まれないもの

スケジュールで含まないとされた食費・日本国内における自宅から発着
空港までの交通費・個人的性格の諸費用（電話代・疾病等に関する医療費
・パスポート取得費用等）

7. 参加費納入（2）

- <期日> ①申込金（7万円）：2024年5月（予定）
②申込金を除いた額：2024年7月（予定）

※今後の世界情勢や為替の変動などにより、プログラムの内容や参加費用に変更が生じる可能性があります。事情により金額不足となった場合は不足金額分を追加徴収させていただきます。逆に、実費が徴収した参加費用を下回った場合は、差額を返金します。

8. 旅費補助および奨学金 －合格評価を得た後に－

● ALL DOSHISHA教育推進プログラム「宗教と国際社会」 合格者に対する旅費補助

※2024年度は全学部生が対象です。

<支給額> 10万円

<支給時期> 成績発表の約1ヶ月後

● 同志社大学海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金

※「宗教と国際社会」を卒業単位に算入する学部
に所属の学生に限ります。

単位の取扱については、所属学部事務室へ確認してください。

<支給額> 5万円

<支給時期> 成績発表の約2ヶ月後

▼ 手続の詳細は事前授業にて説明予定です。

9. <重要> 出願にあたりご注意ください (1)

- ①キャンセルは認められません。渡航先の国・地域の状況やそれに伴うリスク等もふまえ、参加について十分に考慮し、保証人の方ともよく相談したうえで出願してください。
- プログラムに参加することが決定した後にキャンセルされた場合、理由の如何にかかわらず、キャンセル料の支払が必要となる場合があります。また、参加費全額返金の保証はできません。
- 渡航先の危険情報、医療・衛生、文化・宗教に関する情報については、例えば以下のようなサイトを参照してください。

例) 外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
外務省世界の医療情報ホームページ
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/asia/bangla.html>
在バンングラデシュ日本大使館ホームページ
https://www.bd.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

9. <重要> 出願にあたりご注意ください (2)

- ②事前授業には**必ず出席**してください。体調不良などやむを得ない事情により欠席の場合は、必ず担当教員へ事前に相談すること。事前連絡なく欠席した場合は、フィールドワークに参加できなくなります。また、**成果報告会での報告も必須です**。
- ③本学では、海外渡航を伴うプログラムについて、外務省海外安全ホームページの危険情報レベル2以上または感染症危険情報レベル2以上が発出されている場合は、「学生本人の意向にかかわらず、大学として渡航を見合わせる」としてしています。また、状況変化による入国制限や査証発給の遅延等により渡航できない可能性があることや、現地情勢の急激な悪化等により大学が渡航中止を指示する場合がありますことをご理解ください。渡航後であっても大学長による帰国勧告等が出された場合は帰国しなければなりません。あらかじめご了承くださいと共、その際は、渡航先や大学の指示に従ってください。
- ④上述の①～③に記載する事態に伴い発生する費用については、参加学生の負担となります。

10. 参加学生から/質疑応答

・参加学生から

2023年度にこの科目を履修した神学部学生より、バングラデシュでのフィールドワークで経験したこと、学んだことを紹介。

詳しくは下記の成果報告会の動画をご覧ください。

「宗教と国際社会」（2023年度春学期科目）9月22日 成果報告会 動画配信

<https://theo.doshisha.ac.jp/theo/news/2023/1012/news-detail-129.html>

・質疑応答